



# 8月園だより



令和7年8月1日  
目黒区立目黒本町保育園園長



プールや乳児のテラスから水しぶきとともに子どもたちの賑やかな歓声が聞こえてきます。水遊びは心を開放し友達と楽しさを共有したり、一人ひとりがその水の性質に触れ試し不思議さを感じたりする遊びです。今月も子どもたちの体調や暑さに注意し安全に行っていきたいと思います。

もう一つの楽しい夏の活動は夏野菜の収穫です。春から育てた野菜を自分で収穫し、目の前で調理してもらい食べています。切り方を変えてピーマンを輪切りにすると、「ピザみたい」といつも料理が楽しくなりました。味付けを醤油にしたときは、炒めるまえに醤油をペロッと味見して「しょっぱい」と言っていました。ピーマンの中に入れると、「シュー」という音とともに香ばしい匂いがしてきて「早く食べたい」という声に変わりました。出来上がったピーマン炒めをフーフーしながら食べる醍醐味を味わっていました。まだまだナスにオクラ、トマトにパプリカなど各クラスが大切に育てています。大事に育てて、みんなで食べる経験を通して、食べることで楽しいと感じられるようにしていきたいと思います。



## 8月の行事予定

プールじまい 幼児クラス

身体計測

全園児

避難訓練

全園児

## 乳児クラスの水遊びの様子

水に触れて冷たさを感じ、流る様子を見たり、音を聞いたりしながら遊んでいます。様々な素材に触れながら、触覚を中心に聴覚や視覚などの五感が刺激される遊びをたくさんしていきます。

冷たい

ゆらゆら  
動いてる

水を入れたら  
ボールも  
上がってきた

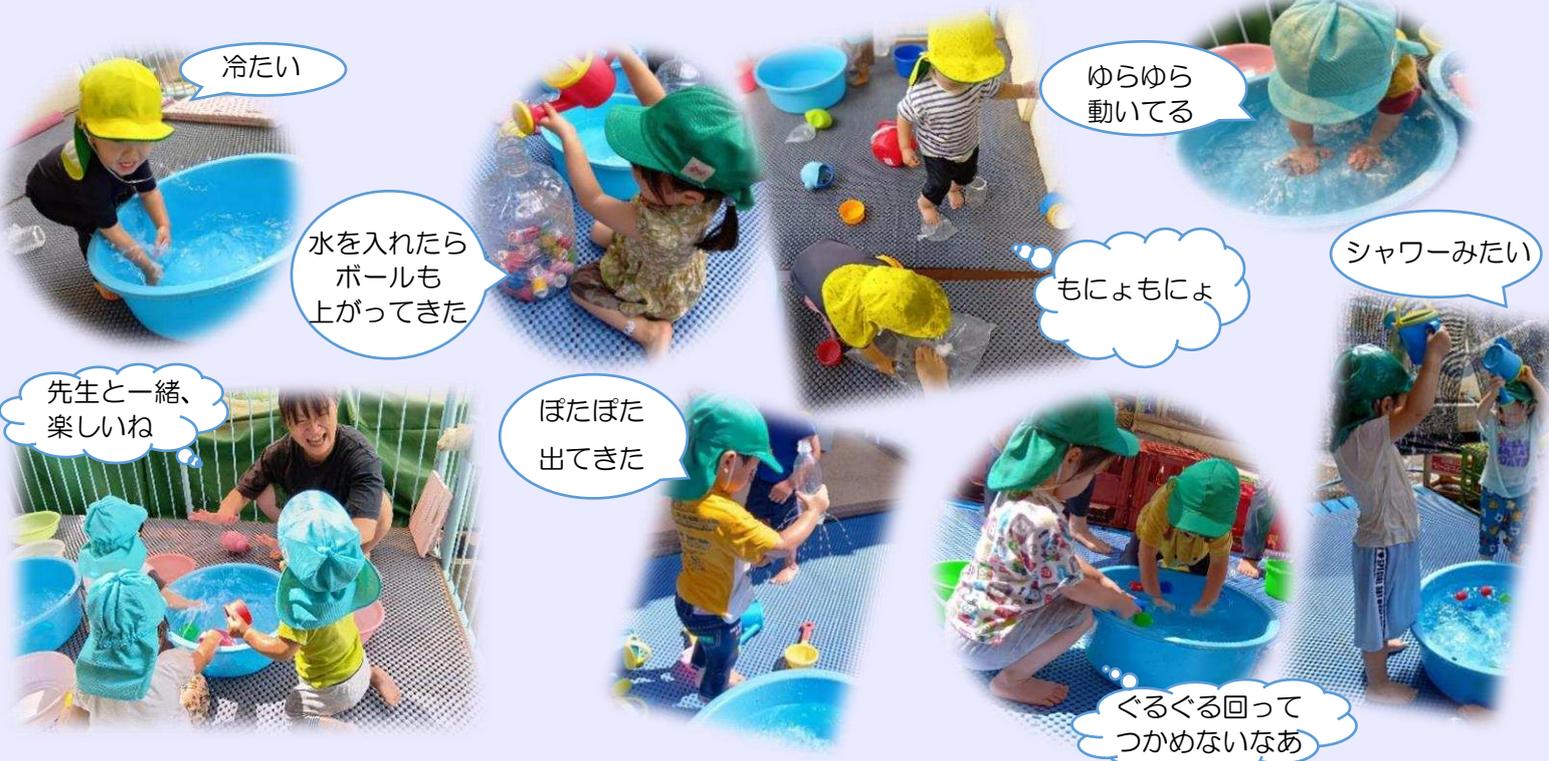
もよもよ

シャワーみたい

先生と一緒に、  
楽しいね

ぼたぼた  
出てきた

ぐるぐる回って  
つかめないなあ



～心も体も大きくなあれ～

## プール遊び



### こぐま組（3歳児）

『 ときどき でも楽しいな 』

「お水の中には何がいるかな」という保育士の声に、プールの底に両手膝をつけて四つ這いになり水面から首を伸ばして大きく口をあけ“ワニ”になった子に続いて「くらげするよ」とゆらゆら腕と体を揺らしています。四つ這いから“うま”や“各駅電車”も現れ、それぞれの子が自分のイメージでなりきりプール遊びを楽しんでいます。その賑やかな友達の傍で水の揺れや水しぶきにドキドキしていた子も保育士が水中にしゃがみ“アヒル”歩きをすると、水に触れないように少しだけ足を曲げ保育士と一緒に歩き始めました。少しずつ姿勢が低くなり、気が付くと揺れる水面がお尻に触れ「お尻ついちゃった」と笑顔を見せています。「お尻つけたね」と保育士も笑うと緊張がほぐれたのか「カニになる」とお尻を水中に沈めて横歩きを披露していました。今度は“カニ”を真似た“ザリガニ”や“タコ”になる子も出てきて、いつの間にかプールの中は色々な生き物でいっぱいになりました。“友達とプールにはいるのが大好き”と感じる夏にしていけます。



### ぞう組（4歳児）

『 何になったかな 』

腹ばいになりゆっくりと手を動かして前に進み、水面すれすれに顎を付けてフープをくぐってきた子に「足がピンと伸びてスイーッと泳いだのは誰だろう」と尋ねると、「ワニだよ」と誇らしげな表情です。「さあ次は何が来るかな」と保育士の声に「いくよ」「高く飛ぶからね」と宣言をして足からジャンプ、大きな水しぶきを上げて「すごいでしょ、シャチなんだ」と話していました。シャチのイメージが水しぶきという発想に友達も保育士も納得です。子どもたちのなりきるものから、水の生き物の知識が増えたことが伺えます。「ラッコ泳ぎだよ」と後ろ向きで進み横回転したり、アニメのお姫様になって、人魚のように足をゆらしたりプールのなかで自由に体を動かすことを楽しんでいます。



### らいおん組（5歳児）

『 自分の力を信じて 』

もう少しで水に顔をつけられそうな子に「口を閉じて、鼻まで水に付けてみる？」と保育士が勧めても「そこまでは出来ない」という返事が返ってきました。そう答えながらもプールに入る度に人知れず顎から口までの入水に挑戦し、ある日、鼻まで水に付けることができました。「すごい、今水に顔をつけられたね」と見ていた友達が大喜びし、照れた表情をしながらも友達に褒められ嬉しそうに保育士のところに来ると「本当は潜れるようになりたいんだ」と更なる目標をこっそり教えてくれました。他の子も「先生見て」と急に水に潜ることができたので、友達と保育士が驚いて「凄いな」と喜ぶと「実はねお休みの日に練習したの」と、またこっそりと教えてくれました。友達の「もう一回潜れるよ。潜るところ見せてよ」という声援にとっても嬉しそうでした。こんなことを頑張りたい、こんな風になりたいと目標に向かってチャレンジする友達をみんなで応援し喜び合う経験が自分の力を発揮する源になっていきます。

